

# 西紀っ子だより



〒669-2716

兵庫県丹波篠山市乗竹650

TEL: 079-593-0024

FAX: 079-593-0249

Email: el-nishiki@school.sasayama.jp



未来を切り拓き、夢をかなえる力の育成～郷土を愛し ころ豊かにたくましく～

(文責: 藤原典英)

## 学校・家庭・地域で守る子どものいのち

一学期も終わりを迎えました。一学期の登校日は57日（一年生は56日）ありました。子どもたちが元気に登校することが出来たのも、保護者の皆様、そして地域の皆様のおかげと考えております。本当に有難う御座いました。また、一学期の終業式を無事に執り行うことが出来たのも、皆様が日頃より本校の教育活動に対し、あたたかいご理解と力強いご支援を寄せてくださっている賜物と考えております。重ねて、心より感謝申し上げます。

さて、40日あまりの長い夏休みが始まります。この期間が、子どもたち一人一人にとって安心・安全で、心豊かに成長出来る時間となるよう、学校・家庭・地域が一体となって見守っていただけたら、と考えております。つきましては、下記の点に関して、保護者の皆様・地域の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

### 1 保護者の皆様へのお願い

夏休みは、いつもと違う生活リズムやパターンとなります。学校でも指導しましたが、家庭でも「自分の命は自分が守る」という自覚を育てるために、夏休みのくらしについてゆっくり話す機会を設けて下さい。

#### (1) 基本的生活習慣の維持

心身の健康と2学期のスムーズなスタートのために、就寝・起床及び食事の時間等、基本的な生活のペースを保つ様にさせてください。

#### (2) 「自分の命は自分で守る」という意識の徹底

熱中症対策、水の事故、交通安全等に対して気をつけることを確認してください。

#### (3) インターネット・SNSとの健全な付き合い

家庭でのルールを確認すると共に、自分が見ているディスプレイの向こうには、実社会と同じ様に多くの人がいることへの理解を促してください。

### 2 地域の皆さまへのお願い

夏休みは、子どもたちが日中に地域で過ごす時間が増えます。子どもたちの安全は、地域の皆様のあたたかい「見守りの目」によって支えられています。

#### (1) 「ながら見守り」へのご協力

お散歩や買い物、農作業等で外におられる際に、子どもたちを見かけたら声をかけてやってください。日常生活での何気ない見守りが、子どもたちを事故や犯罪から遠ざけます。

#### (2) 危険な遊びを見かけたら

道路への飛び出しや危険な場所への立ち入りなど、子どもたちの危ない行動を見かけましたら、優しく声をかけ、ご注意いただくと助かります。

子どもは未来からの預かりもの、皆の宝です。学校・保護者・地域が協力し、西紀の子が明るく笑顔でくらす夏休みとなります様に、ご協力をお願い致します。何か気が付かれることが御座いましたら、学校までご連絡いただけると幸いです。

【西紀小学校】079-593-0024

## △8・9月の行事予定▽

### 【8月】

10日(日) 学校閉庁日(～15日まで)

24日(日) 環境美化作業

### 【9月】

1日(月) 始業式 全校終会11:35

2日(火) 全校終会11:35

3日(水) 給食開始 全校終会12:35

4日(木) 全校終会12:35

5日(金) 全校終会12:35

10日(水) 朝のお話会

11日(木) 米寿のお祝い

15日(月) 祝日・敬老の日

18日(木) 運動会予行演習

20日(土) 運動会

21日(日) 運動会予備日

22日(月) 振替休業日

23日(火) 祝日・秋分の日

25日(木) 稲刈り※予備日26日(金)

29日(月) 3年生校外学習



## ○全校学習タイムでの学び合い○

本年度、全校学習タイムは「探究する学び」を中心に据えて取り組んでいます。

一学期は、「アルミ缶を回収したお金で何を購入するのか」をテーマに話し合いました。地域の方が学校に持ち込んでくださったアルミ缶を回収に出し、換金して貯めてきたお金があります。それを使って、西紀っ子的のためになるものを購入しますが、それを全校で話し合って決めよう、というのが大きな流れです。自分たちで意見を出し合い、購入するものを決定するのです。全校での話し合いの結果、「お掃除ロボット」と「室内用トランポリン」を購入することにしました。それらを購入することに理由も高学年が説明しながら、それぞれの名前や使い方のルールも、担当する部で考え、皆に伝えていきました。一年生から六年生までがそれぞれの部に所属し、自分たちで意見を出し合い、意見をたたかわせて合意形成を図っていきます。

この様な話し合いは、リアルな社会の姿に近いのではないかと考えています。社会に出ると、常に「正解のない問い」が連続して目の前にあらわれます。しかし、その問いを解決するために、周りの皆と力を合わせて進まなければなりません。その場、その時の「最適解」や「納得解」を皆でつくっていかねばならないのです。今回の話し合いも、決まり切った形ではなく、高学年が話し合いを上手に整理しながら、下学年の考えも聞きながら検討を重ねていきました。皆で合意形成を図るとはどういったことか、折り合いをつけるとはどういったことかといったことを学ぶことが出来たのではないかと思います。

こういった活動を通して身につく力のひとつを、「非認知能力」と呼びます。非認知能力とは、主に意欲・意志・情動・社会性に関わる3つの力（自分の目標を目指して粘り強く取り組む・そのためにやり方を調整し工夫する・友だちと同じ目標に向けて協力し合う）から成るものです。この力はテストなどの様に点数化することは出来ませんが、人生100年時代（生涯学習社会）を生きるうえで、自己肯定感や感情のコントロール、状況への柔軟な対応などに必要不可欠な力です。

2学期は、地域をテーマとした全校学習タイムとなります。全校での学び合いを通して、これからの社会を生きぬいていく力を身につけさせたいと考えています。

※7月14日の本テーマ最終日には、丹後教育長も視察に来られ、子どもたちが次々に考えを表明する姿に驚かれていました。



## ◇「いじめアンケート」の集計結果について◇

毎年、学期ごとに「いじめ」に関するアンケートを実施しています。そして、担任は、その回答をもとに子ども一人一人と話をする機会を設け、回答の背後にある思いを見取る様に努めています。そういった取り組みを通して、いじめの未然防止や早期発見、迅速な対応に取り組んでいます。

一学期のアンケートの結果を見ると、継続的で根深いいじめ事案はありませんでした。しかし、言葉遣いがもとで思いの行き違いがあり、互いに嫌な思いをするといった事案は見られました。児童会が主体となって、互いに優しい言葉をつかっていくように呼びかけたりもしています。子どもも大人も、言葉遣いを美しくして、これまで以上にあたたかな学校・あたたかな地域をつかっていきたいとします。

アンケートには、「嫌な思いをした場合誰に相談するのか」といった項目があります。今回、89%の子どもが「担任」に相談する、といった回答をしていました。これも、少人数学級の良さをいかした日頃からの関係づくりの成果だと考えられます。小規模校故に、担任以外の教職員とも接する回数や密度が多いです。そういったことも反映されて、「担任以外の先生」に相談する割合も高かったです。

今後も、「いじめは絶対に許さない」という姿勢を子どもに伝え続けるとともに、これまで以上に、子どもの思いに寄り添った支援が出来る様に努めていきます。



## ▽西紀ライオンズクラブ様より△

本年度も、西紀ライオンズクラブ様より、「花いっぱい運動支援金」をいただきました。

学校の環境美化や、式典での鉢植え等を用意することにつかせていただきます。

子どもたちのために、毎年有難う御座います。  
心より感謝申し上げます。

## ◎ご意見・感想をお聞かせ下さい◎

「西紀っ子だより」へのご意見や感想をお聞かせ下さい。

右のQRコードを読み取っていただくと、フォームにつながります。または、学校でお話をうかがうことも出来ます。いつでもお越しください。



デカンショ祭の「あんどんの絵」は、西紀小は『上立町』に飾られます。是非足をお運び下さい。  
【掲出期間：8月13日－8月16日】